

令和6年2月19日付【水道産業新聞】
 <W・PPPや汚泥肥料化を話題に>
 関東支部 1都7県と下水道座談会実施

W・PPPや汚泥肥料化を話題に

水コン協 関東支部 1都7県と下水道座談会実施



対面では4年ぶりの開催となった下水道座談会

全国上下水道コンサル
 タント協会関東支部(支
 部長 菅原一孝・日本水
 工設計取締役東京支社
 長)は1月26日、協会内
 で第37回下水道事業座談
 の桑島知哉・事業統括部

会をオンライン併用で開
 いた。関東支部の役員と
 関東甲信地方(1都7
 県)の下水道担当者、日
 本下水道事業団(JSS)
 本下水道事業団(JSS)
 の桑島知哉・事業統括部

地震の被災地支援活動で
 お忙しい中、お集りいた
 だき、ありがとうございます
 ます。水コン協の会員も
 災害査定資料などの作成
 支援を行うなかで、年度
 末ということで、通常業
 務よりも災害支援を急が
 なければならぬ状況が
 生じ、業務や技術内容な
 どの緩和について協力・
 支援をお願いする可能性
 もあることをご理解いた
 だきたい。対面での座談
 会の開催は4年ぶりとな
 る。ウォーターPPPな
 ど新たな課題についても
 情報共有や意
 見交換ができ
 れば」とあい
 さつした。



菅原支部長

東京都、茨
 城県、栃木県、

次長、和田淳・
 東日本設計セ
 ンター長が参
 加。自治体の
 下水道事業の
 課題や取り組
 み事例を中心
 に意見交換し
 た。

群馬県、埼玉県、千葉県、
 神奈川県、山梨県の各都
 県の担当者からは話題と
 して、市町村における
 ウォーターPPPや広域
 化・共同化の導入に向け
 た検討や、下水汚泥の肥
 料化、脱炭素化に向けた
 省エネ・創エネ設備の導
 入、災害対策に向けた施
 設整備、施設の維持管理
 におけるDX、処理場の
 再構築、働き方改革・担
 い手確保などの課題が挙
 げられた。JSSからは、
 被災地支援のための体制
 整備や、PPP/PPFI
 などを含めた多様な契約
 形態による施設整備の取
 り組みが紹介された。

水コン協からは、上下
 水道事業の執行上の課題
 を取りまとめ、事業体
 持参し改善を求める「要
 望と提案」活動をはじめ
 め、昨年度と今年度の主
 な事業活動について紹介
 があった。